**現認証明書**

記　載　例

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 被災職員 | 所属部局 | ○○市○○課 | | |
| 職氏名 | 主任主事　福岡　花子 | 年　齢 | ○歳 |
| 現住所 | ○○市○○　○○－○○ | | |
| 災害発生日時 | | 令和　○　年　○　月　○　日　　13　時　40　分頃 | | |
| 災害発生場所 | | ○○市庁舎　３階　階段付近 | | |
| 現認時の  状況等 | | 私は、○○市○○課で○○業務に従事しています。被災当日、 | | |
| 福岡主任主事と３階で○○会議の準備に従事していました。会議 | | |
| で配布する資料を4階の執務室に忘れているのに気づき、受付 | | |
| 開始まで時間があまり無いので、福岡主任主事が急ぎ取りに行き | | |
| ました。受付に出席者が来始めたので、私が廊下で受付をしてい | | |
| ると、階段の方からドスンという音と、人の声がしました。駆け | | |
| つけると福岡主任主事が倒れていて、手首を痛そうに押さえて | | |
| いました。「両手で荷物を持って急いでいたので、階段のすべり | | |
| 止めでつまずいてしまった」とのことでした。左足首もとても痛 | | |
| そうでしたので、急ぎ所属長に報告し、Ａクリニックに搬送する | | |
| ことになりました。 | | |
| ・証明者の視点から記載すること。（請求者が作成した被災状況をそのまま転記しない。）  ・災害発生時点を現認していなくても、その場に居合わせた者がいれば、できるだけ「現認証明書」の方を作成する。  （職員以外でも可。ただし第三者加害の相手方は除く。）  ・現認者がおらず、上司が報告を受けた場合には「事実証明書」（Ｐ25）を使用する。「事実証明書」は原則として直属の上司が、証明者の視点から記載する。 | | |
|  | | |
| 参考事項 | |  | | |
|  | | |
| 上記のとおり現認しました。  令和　○　年　○　月　○　日  住所又は所属　　○○市○○課  職氏名　　係長　筑紫　二郎 | | | | |

（注）年月日の記載には元号を用いてください。